

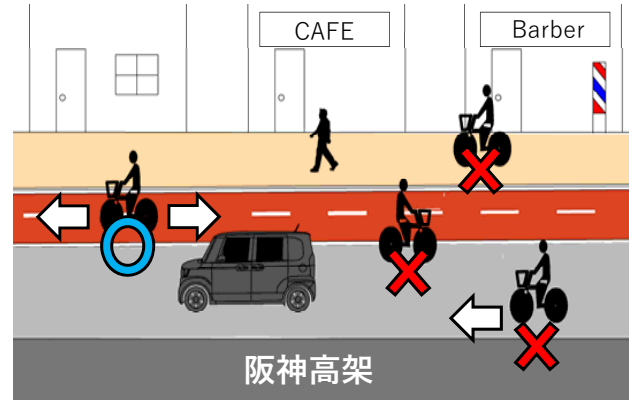
阪神本線住吉・芦屋間の連続立体交差事業

3. 阪神北側側道での自転車の通行方法



東灘区では、鳴尾御影線の自転車レーン(2012年)、深江浜(2021年)、阪神北側側道(一部完成)の自転車道など自転車が安全に走れる空間整備を進めています。安全な道路環境を確保するには、空間整備に加えて、利用者自身が通行方法を守ることが重要です。自転車利用の際は次の通行方法を守ってください。

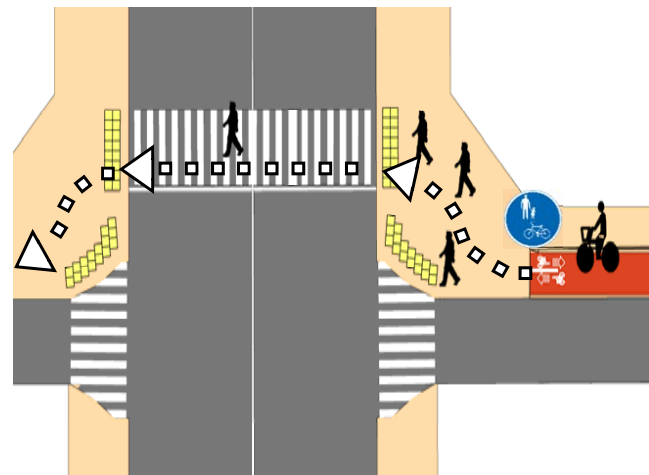
自転車は必ず**自転車道**を通行してください

自転車道は、車道でも歩道でもない**自転車専用の第三の空間**です。自転車は**自転車道以外**の空間(歩道、車道の左端)を**通行できません**。自転車道内は相互通行可能です。また、**歩行者は自転車道を通行できません**。



交差点部・横断歩道は歩行者に注意して、徐行ください

自転車道の色の無い交差点部は歩道です。歩道部は、この標識の規制に基づき**歩行者に注意して徐行**できます。
※普通自転車通行可
自転車は歩道部分の通行ができませんが、この標識のある区間では、特例的に歩道の車道寄りを歩行者に注意しながら徐行することができます。



【参考】**自転車レーン**の通行方法

鳴尾御影線の青色で着色された部分は、自転車レーンです。自転車は**車道の左側部分(車と同じ方向)**のみ通行できます。自転車道と違い、レーン内は相互通行できません。



《ニュースの内容》

阪神本線連続立体交差事業は、2019年11月に高架工事を完了し、北側側道等の関連道路の整備を進め、一部で開通しています。この度、現在のまちづくりの状況をお知らせします。

〈トピック〉

- 1. 鉄道高架下まちづくり
- 2. 工事のスケジュール
- 3. 自転車の通行方法

1. 鉄道高架下まちづくり

広大な高架下を有効活用し、地域課題の解決や駅前の活性化につながるよう、様々な取り組みを進めています。

市役所、阪神電鉄だけでなく、地域の皆さまや周辺企業・団体と共に引き続き取り組んでいきます。

地域課題の解決

放置自転車、災害への備え、日常生活の安全など地域課題の解決のため、駐輪場の整備や交番の設置を進めました。



駐輪場



青木駅前交番

駅前の活性化

人の往来が多い駅前を優先的に、商業施設等の誘致を進めていきます。

深江駅下のドラッグストアに続き、青木駅下の施設誘致にも努め、親しみを持っていただけの高架下づくりを進めていきます。



深江駅下にオープンしたドラッグストア



【東灘高架下ロゴマーク】

東灘高架下を構成する4つの駅(魚崎、青木、深江、芦屋)のつながりを表している(阪神電鉄提供)

(問合せ先) 市総合コールセンター ☎ 0570-083330 または 078-333-3330 (年中無休 8:00~21:00)



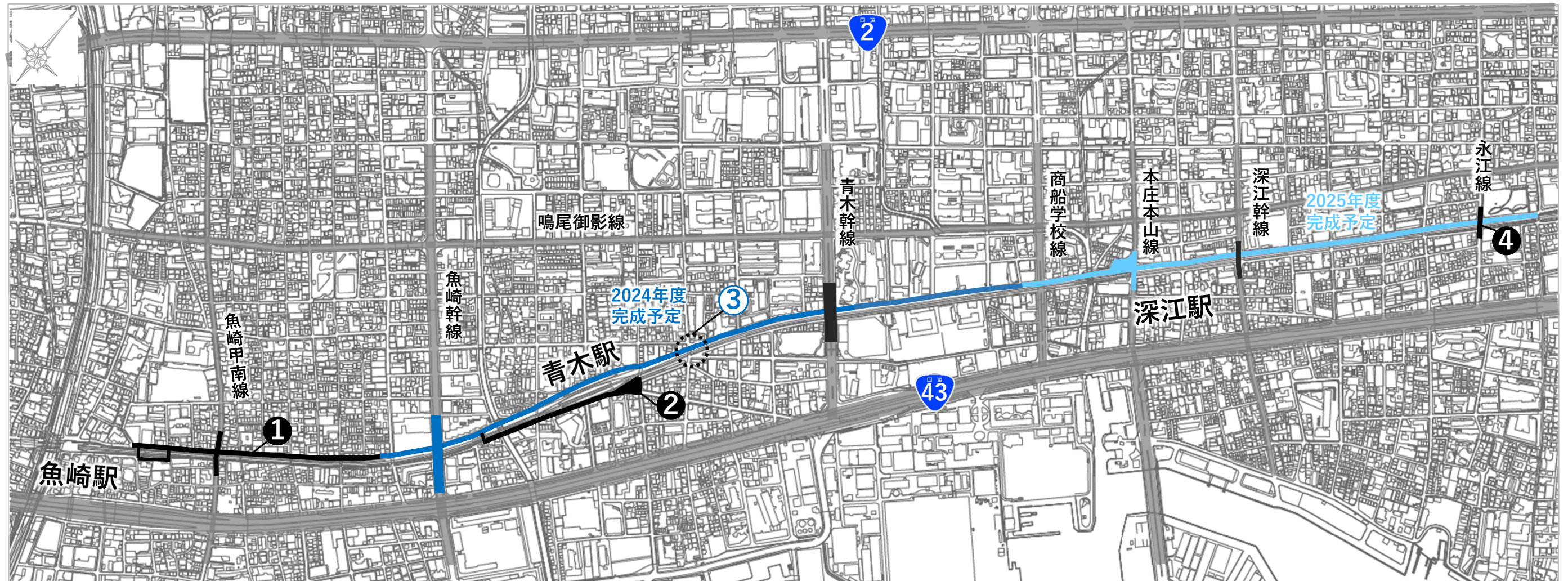
2. 工事のスケジュール

2023年度に、魚崎駅から東約0.7kmの区間、青木駅の南側ロータリーが完成しました。

2024年度には、魚崎幹線から商船学校線までの約1.6kmが完成予定です。

商船学校線から芦屋市境約1.2kmは、2025年度完成予定です。

工事完成予定位置図



魚崎地区側道

魚崎駅から魚崎幹線までの区間において、車道・自転車道・歩道・道路地下に電線類を収納する空間が完成しました。



青木駅南駅前広場

ロータリー広場、サークルベンチ、樹木の設置が完了しました。地域団体のイベント広場としての活用も始まりました。



古堂交差点

通学路の安全対策として、**交差点改良**（横断歩道の移設、横断箇所溜まり場の設置）を予定しています。



永江線

2025年度北側側道工事に先行して、**高架下南北道路の整備**が完了しました。沿道施設への利用が便利になりました。